



Full Bloom

No. 23

Full Bloom「満開」

萩・桔梗・葛・藤袴・女郎花・尾花・撫子
秋の七草

後期の生徒会活動が始まりました

10月7日(火)に、新生徒会役員、後期の学級役員・専門委員会役員の任命式が行われました。後期は2年生をリーダーとして活動します。3年生は、困っているときにはアドバイスしたり、さりげなく手伝ったりして、先輩としてあるべき姿を示してほしいものです。

卒業のその日まで、学級委員を中心に、有終の美を飾る学校生活を送ってほしいと思います。

学級委員からこんな風に卒業式を迎えたい

中学校生活最後の学級委員として、どんな卒業式を迎えたいか、ということを考えてもらいました。

桃花祭が終われば、後は受験まっしぐら。その中で、クラス一丸となってステキな思い出を作って卒業の日を迎えたいという気持ちが、どの文章からも伝わってきます。

3年生全員が心をついに、毎日の学校生活を楽しんでほしいと思います。

Hope & Dream!

鈴木 郁美

中学校生活も残り5ヶ月となり、クラスメートと過ごす時間もわずかとなりました。

だんだんと私立受験、県立受験と近づいてきます。「努力は足し算、協力は掛け算」をモットーに、1組らしく、明るく元気な笑顔で卒業式を迎えられるように、学級委員全員でクラスをサポートしていきたいと思っています。

経験を生かして

中村 陸人

僕は3-3のみんなが最後まで後悔することなく、明るく笑顔で卒業できるクラスにしていきたいです。そのために、今まで生徒会役員として活動した経験を生かして一人一人の意見を聞き、クラス全体をまとめていきたいです。

残り半年、学級委員長としての自覚を持ってがんばります。

最高の卒業式にするために

芳賀 礼智

卒業式を笑顔で迎えるには、今から受験勉強を積み重ね、本番で力を発揮することが大切だと思います。日々勉強して、受験への自信をつけていきたいです。

受験まで半年を切っています。がんばって「全員合格」を目指しましょう。

笑顔で卒業式を

橘内 菜々美

私は、みんなが「最高の3年間だった」と泣いて笑って卒業式を迎えられるように、残りの日々でたくさん思い出をつくりたいです。桃花祭はもちろん、何気ない日常も思い出になるように、クラスの仲を深めたいです。

また、来年の4月に、みんなが笑顔で第1志望の高校でスタートできるように、学習環境を整えたり勉強を教え合ったりするようにしていきたいです。

学級副委員長として

大橋 明由

最後にみんなが笑顔で卒業できるクラスにしたいです。結果がよかったときはもちろん、たとえ悪かったときでも、みんなが達成感をもって卒業できるようにしたいです。そのために、勉強したい人が落ち着いて集中して取り組める雰囲気を作りたいと思います。学習委員と協力して3分前着席などを徹底したいです。

来週の予定

※都合により、5名の学級委員の作文を掲載しています。

月日(曜)	1	2	3	4	5	6	行事等	給食	清掃	部活動	下校時刻
10/13(月)	スポーツの日						♪吹奏楽部定期演奏会 13:30~ 本校				
14(火)	火1	火2	火3	月5	火5	火6	県駅伝大会 衣替え(冬服で登校です)	○	○	○	17:45
15(水)	水1	水2	水3	水4	水5	水6		○	×	×	16:10
16(木)	木1	木2	木3	木4	木5	木6	進路対策費・卒業準備金納入日	○	○	○	17:45
17(金)	国語	数学	英語	理科	社会		第4回実力テスト	○	○	○	17:30

お済みですか

県立高校・特別支援学校高等部入学者選抜 WEB出願システムに係るメールウォームアップ

上記の内容について、先週プリントを配布しました。今年度から、県立高校の出願もWEBで行います。県立高校等への入学を希望する生徒および保護者のメールアドレス登録をさせていただきよう、福島県教育委員会から案内が来ています。

メールサービスにおける迷惑メール対策が強化されており、正規のメールであっても受信されないケースが確認されていることから、関係するメールが正常に届くよう、「メールウォームアップ」を行うものです。WEB出願システムからのメールを正しく受信できるか確認することができるため、出願時に登録予定のメールアドレスをご登録いただくことを推奨しています。

期間等については、下記のとおりです。なお、うまく接続できないなどのトラブルがあれば、担任までお知らせください。

記

■ 期間：令和7年10月1日（水）～10月24日（金）

※ 期間終了後も送信可能です

■ 内容：メールアドレスの登録（Webフォーム方式）

- 下記の登録フォームより、志願者及び保護者の方のメールアドレスを入力してください。

URL:<https://forms.gle/8eicB1Ef21tGrBmK8>



■ テストメール送信期間：令和7年10月下旬頃～11月中旬頃

- メールアドレスの登録から期間が空く場合があります。
- 登録されたメールアドレス宛に、システムより複数回（2～6通程度）テストメールが送信されます。

〔東洋経済 on line 2025. 8. 26『東大理Ⅲ合格者のノート術』より〕

ノートをパワーアップ→成績アップ！

授業中に黒板を写すことは誰もがやることですが、東大理Ⅲの合格者たちはそれだけでは終わらせていません。黒板に書かれた板書を写したあとに、必ず自分の言葉で「補足」や「気づき」を書き加えているのです。しかもそのために、あらかじめ余白を多めに残しておいたり、色ペンで見やすく分類したりと、工夫をしている人が多いのが特徴です。

ある学生は、「授業の内容をただ写すだけでは、自分の頭に入らないんです。先生の言葉をそのままじゃなく、“自分にとって大事なこと”に置き換えて書く。そうすると頭に定着するし、後から見返したときに『なるほど、このときはこう考えていたんだ』と思い出せるんです」と言っています。ノートの隅に書いた、授業の中で先生が言った冗談や雑談をきっかけに、大切なことを思い出した生徒の話を聞いたこともあります。

たかがノート、されどノート。自分のノート作りを見直してみませんか。

